

開催月日	名 称 (開催地)
4. 13 - 4. 16	Plasma Diagnostics 2010 (Lorraine, France)
5. 23 - 5. 27	IEEE Int. Power Modulator and High Voltage Conf. (Georgia, USA)
6. 10 - 6. 11	第8回核融合エネルギー連合講演会 (高山市民文化会館, 岐阜県高山市) 本学会
6. 14 - 6. 17	24th Symp. Plasma Physics and Technology (Prague, Czech Republic)
6. 20 - 6. 24	37th IEEE International Conference on Plasma Science (ICOPS2010) (Norfolk, Virginia, USA)
8. 1 - 8. 6	第21回 IUPAP 化学熱力学国際会議 (ICCT-2010) (エボカルつくば)
8. 3 - 8. 7	10th Int. Colloquium on Atomic Spectra and Oscillator Strengths for Astrophysical and Laboratory Plasmas (ASOS10) (California, USA)
9. 14 - 9. 17	応用物理学会平成22年秋季講演会 (長崎大学文教キャンパス)
9. 15 - 9. 17	日本原子力学会 秋の大会 (北大)
9. 23 - 9. 26	日本物理学会秋季大会 [物性] (大阪府立大学)
9. 27 - 10. 1	26th Symp. Fusion Technology (SOFT 2010) (Oporto, Portugal)
10. 4 - 10. 8	Gaseous Electronics Conf. and Int. Conf. Reactive Plasmas (GEC2010/ICRP-7) (パリ)
10. 5 - 10. 8	Joint IAEA/EC Application of Nuclear Techniques in Development of New Structural Materials for Advanced Fission and Fusion Reactor Systems (Barcelona, Spain)
10. 11 - 10. 15	3rd Euro-Asian Pulsed Power Conf. (EAPPC 2010) and 18th Int. Conf. High-Power Beams (BEAMS 2010) (Jeju Island, Korea)
10. 11 - 10. 16	23rd IAEA Fusion Energy Conference (Daejeon, Korea)
10. 24 - 10. 29	第9回トリチウム科学技術国際会議 (奈良県新公会堂)
11. 8 - 11. 12	APS DPP Annual Meetings (Chicago, Illinois, USA)
11. 30 - 12. 3	第27回年会 (北大学術交流会館) 本学会
2011	
3. 24 - 3. 27 (3/28月予備日)	応用物理学会平成23年春季講演会 (神奈川工科大学)
3. 25 - 3. 28	日本物理学会第66回年次大会 (新潟大学)
8. 29 - 9. 1 (9/2金予備日)	応用物理学会平成23年秋季講演会 (山形大学小白川キャンパス)
9. 21 - 9. 24	日本物理学会秋季大会 [物性] (富山大学)
11. 14 - 11. 18	APS DPP Annual Meetings (Salt Lake City, USA)



本会記事

■第48回プラズマ若手夏の学校開催報告

第48回校長 水口正紀 (筑波大学プラズマ研究センター)

1. はじめに

2009年8月5-8日の4日間, 第48回プラズマ若手夏の学校が今年度当番校となった筑波大学主催により, 筑波山麓 (茨城県つくば市筑波) にて開催されました. 今回の夏の学校の参加者は, 学生48名, 講師8名でした. 以下では, その報告と課題を記述します.

2. 主題と方針

今回の夏の学校では, 当学会がめざす「国際化と高度化」というテーマを掲げ, 準備を進めました. 国際熱核融合実験炉 (ITER) に代表されるように, プラズマ・核融合の分野は国際協力が活発です. これから ITER を担う世代とし

て, 高度な事柄を英語で理解する訓練を積むべく, 新たに英語での講義を設けました. また例年と同様, 各分野における著名な先生方の講演や, 参加者同士の研究・情報交換の場としてのポスターセッションも行い, さらに開催地筑波山にちなんだイベントや, 夕食後のナイトセッションなども用意し, 参加者の方々に大学の垣根を越えて幅広く交流を深めていただけるよう努めました.

3. 実施内容

夏の学校は, 表1に示すスケジュールで行われました. 7日のナイトセッションでは, 当学会会長の本島修先生に特別講演をしていただきました.

講義では, 参加者に様々な分野に触れていただくことを目的として, 閉じ込めプラズマに拘らず, 今話題の ITER から核融合ロケットまで, 多岐に渡る内容を用意しました.

表1. スケジュール

8/5(水)		8/7(金)	
13:00~14:00	参加者受付	07:00~08:30	朝食
14:30~15:00	開校式	09:00~10:30	ヘリカル型核融合炉を目指して ～研究の現状と成果～ (榊原悟先生)
15:15~16:45	準電子プラズマで観る渦・乱流のダイナミクス と構造形成のメカニズム (際本泰士先生)	10:40~12:10	プラズマ物理学入門 (北條仁士先生)
17:00~18:30	Plasma Physics at Relativistic Intensities (Dr. Milos M. Skoric)	12:20~13:20	昼食
19:00~21:00	懇談会	13:30~15:00	核融合技術のプラズマ宇宙推進への応用 ～核融合推進ロケットを目指して～ (安藤晃先生)
8/6(木)		15:10~16:40	ITER, そして核融合発電に向かって (松田慎三郎先生)
07:00~08:30	朝食	16:50~18:20	ポスターセッション
09:00~10:30	シミュレーションで見るレーザー核融合 (長友英夫先生)	18:30~20:00	夕食
10:40~12:10	プラズマ分光診断システムのABC 発光分光法及びレーザートムソン散乱法を例に (講演: 梶田信先生 執筆: 門信一郎先生)	20:00~	ナイトセッション
12:40~17:30	親睦登山(昼食)	8/8(土)	
18:30~20:00	夕食	07:00~08:30	朝食
20:00~	ナイトセッション	09:00~09:30	閉会式

4. 参加者の意見と課題

夏の学校終了後、来年度以降の参考とするべく参加者アンケートを行いました。寄せられた回答は、皆さんに概ね満足していただけたことを示していましたが、

「ポスターセッションの時間が短く、他の人のポスターを見て回る余裕がなかった」

「折角つくばへ来たのだから、筑波大学のプラズマ施設を見学したかった」

といった意見もありました。ポスターセッションでは落雷による停電で、実質1時間ほどしかディスカッションの時間が取れなかったため、皆さん不満に思われたようです。各種イベントでは、不測の事態に備えて余裕のある時間設定を行ったほうがよいと思われます。また、今回の会場は

筑波大学からやや距離のある場所であったので、筑波大学プラズマ研究センターの見学を行えませんでした。大型実験施設などを保有している大学ではホスト校の近辺を会場とするか、見学等できるように手配することを考えてもいかかもしれません。

5. 夏の学校を終えて

このたびの若手夏の学校は、援助をしていただいたプラズマ・核融合学会、お忙しい中ご足労いただいた講師の方々、参加者の皆様のご協力により成功に終わりました。この場を借りてお礼申し上げます。次回第49回は2010年夏、大阪大学主催で行われる予定です。



写真1. 参加者集合写真